

第344号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



彼岸に向かつて



カット：本多絢子

猛暑の中にも、どことなく秋の気配を感じる今日この頃です。皆様
お元気でいらっしゃいますか。台風シーズンとなり、次から次へと
日本列島に上陸し、暴風雨による被災は心配なことです。

今年の夏の暑さは尋常ではなかったですね。7月9日から8月23日
までの間に、1日だけパラパラと雨は降ったが夕立もなく、連日摂氏
35度以上で驚きました。お寺の本堂は屋根が高いので、本来ならもう
少し涼しいのですが、今年は扇風機を回しても熱風で、こんな暑い夏
を体験するとは夢にも思いませんでした。

お寺で8年間も飼っている柴犬の『アル』も、昼間は建物の陰で涼
しいところを探しながらごろごろしていましたが、夜の散歩が終わる
と室内のエアコンの効いた部屋で、朝までぐっすり寝ていました。猛
暑に毛皮を着て、夏痩せもせず、大したものだと感心します。

それにしても、この猛暑の中で繰り広げられた夏の全国高校野球も
第百回の記念大会となり、8月21日に大阪桐蔭高校と秋田県金足農
業高校が決勝で対戦、大阪桐蔭高校が史上初2度目の春夏連覇を達成
したのは見事でした。全国の中学から優秀な選手が集まっている大阪
桐蔭高校に比べ、秋田県の中学出身者だけが集まった金足農業高校の

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に電話下さい。

野球部の決勝進出は並大抵なことではなかったと思います。秋田県に
優勝旗を持ち帰ることは出来なかったが、秋田県民に夢と希望と郷土
愛をもたらせたのは、本当に素晴らしいことです。

2年後には猛暑の夏に東京オリンピックが開催されます。選手たち
のことを考えると春とか秋などの気温の余り高くない時期に競技を開
催すべきと愚僧は疑問に思います。1964年の東京オリンピックは
秋の10月10日に開催されました。スポーツの世界も商業主義に汚染さ
れ、純粋にスポーツを楽しんで健康な精神と身体をつくるという目的
からどんどん離れていくのは寂しいことです。

最近、健康寿命という言葉が流行しています。今や65歳以上の高齢
者が人口の4分の1を占める超高齢化社会となり、女性の平均年齢は
87歳を超え、男性の平均年齢も80歳に達しています。長寿社会と言っ
ても、寝たきりや認知症の高齢者が増え、介護トラブルに巻き込まれ
て悩む家族が増加しているので、健康寿命という言葉が生まれたので
しょう。長寿が素直に喜べない時代に直面し、自分のことが自分で出
来るあいだけ生きておきたいと願い、ピンピンコロリという言葉が
流行り、ピンコロ地蔵尊まで出現するとは悲しいものです。

弘法大師空海の『性霊集』に「生は是れ樂に非ず。衆苦の集まる所
なり。死も亦喜びに非ず。諸憂乍ちに逼る」とありますが、「生まれ
たこと、生きることは樂ではない。生きることは諸々の苦しみを受け
る世界である。死ぬこともまた喜びではない。様々な心配事が押し寄
せてくる」という意味です。つまり、人間は自分の都合の良いように
生きられないし、自分の都合の良いように死んでいけないということ
をあらわしているのです。

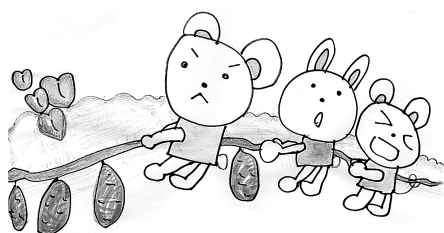
高齢者よ、若者たちに人の生きる意味、死んでいく意味を伝えるこ
とが出来ますか。自分が思うように生きられなくても、自分が思うよ
うに死んでいけなくても、自分が自分で良かったと感謝できる道こそ
を若者に伝えて下さい。それが人の道ですよ。合掌 (奥原 曇龍)

『生きる意味死んでいく意味見つけてね どんな人生も感謝で終わろう』 どんりゆう

ともしび説法

日時・九月五日「水曜日」 午前十時から午後十二時頃まで。
十月四日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



カット：奥原 綾



お釈迦様ものがたり 23

お釈迦様時代の当時インド一般に行われていた、修業の方法には、大別すれば禅定と苦行の二つでした。それはインド上層階級の四時代の習慣である、男子の一生を四つの時期に区分し、学生期・家長期・林棲期・遊行期とあつて、家長として家族を養った後は出家して、自由に生きることが出来たので、林に入つて禅定と苦行の修行をしたのです。

インド人にとって、人間とは何か、どう生きるかが人間と言えるのか、精神の自由とは何かを考えるようになったのは輪廻思想に束縛され、心の平安がなかったからです。

輪廻とは、インド古来の考え方で、生あるものが生死を繰り返すことです。衆生が迷いの世界に生まれ変わり死に変わりしながら、車輪の巡るように止まることのないことを言います。つまり永遠に果てしなく苦しみと迷いの世界を巡りさまようという思想です。

お釈迦様も二十九歳の時に、妻と子を置いて黙つてカピラ城から出て出家したのも、ある意味でインドの四時期の習慣からとも言えますが、生まれて直ぐに母親が産後の肥立ちが悪くて亡くなったことや、小さなお城の王子として生まれたことはいつ攻め滅ぼされるかも知れないという恐怖から逃れたいという気持ちもあつたと思われまます。

お釈迦様は出家し、マガダ国で二人の師匠に出逢います。アーララー・カーラーマ仙は無所有処定(何物にも執着しない無一物の状態となつた禅定)という禅定を得て、これに到達すれば、人生の最高の境地が達成されると教えてくれます。また、ウツダカ・ラーマプッタ仙は非想非非想処定(精神作用があるのでもなく、ないでもないような、一種の無念無想の精神統一の禅定)を理想の禅定となし、それで輪廻からの解脱が得られるという説でした。二人の師から学びつくし、やがて苦行の道に入ります。合掌 (奥原曇龍)

名月や光顔輝々と照り渡り 沈黙の寺にともしび明かり 田辺多恵子



8月ともしび説法での軽食

ともしび法話

9月は秋のお彼岸月です。皆様、お元気でいらつしやいますか。今年の夏は異常な猛暑でしたね。住職も何とかお盆参りが出来ました。皆様のお陰と感謝しています。夏の疲れが出る頃、体調に気をつけて。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

7月7日の洪水が一夜にして人生を替えることを体験しました。夜中の3時、4時と水位を確認し、これはいかんと車を運転し、近くの小学校に避難しました。再建は諦め、娘のいる他県で余生を送ります。倉敷市真備町 梶原 茂

猛暑が続く中を、本日は八種類もの素敵な『ともしび』のカット絵の筆箋を有り難うございました。紙質も絵にうまくマッチしていて楽しみが増えました。色々な筆箋の絵の中から相手のことを思いながら喜んで頂ける絵を選べることに感謝です。都窪郡早島町 平松 公子

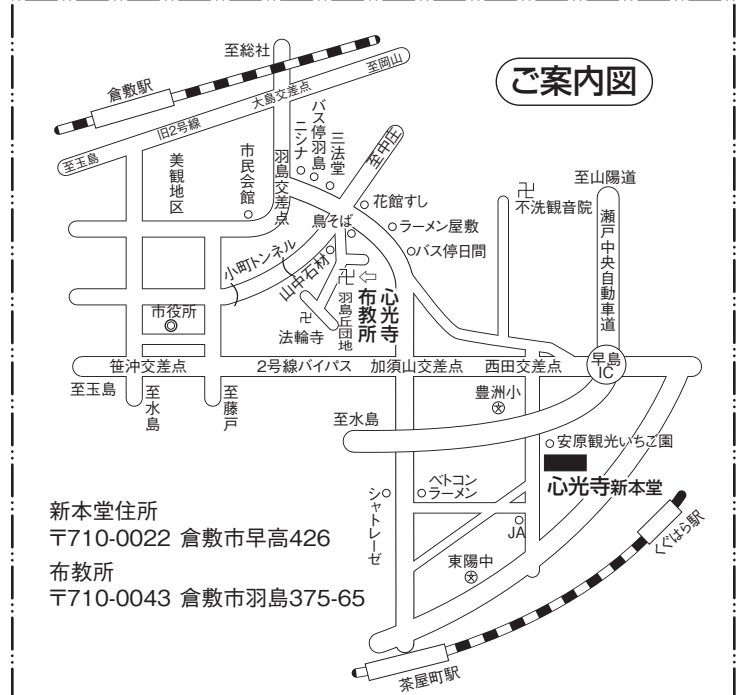
「この夏はすべて失う洪水で ただ残りしものは人の優しさ」 倉敷市真備町 山下 稔

ともしび説法

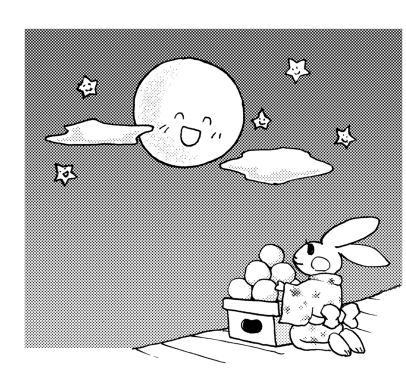
日時・九月 五日「水曜日」 午前十時から午後十二時頃まで。
 十月 四日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
 場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
 電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定
 十一月 三日(土)・午前十時から午後四時・早高の本堂。
 ハンドベル演奏・民舞・フラダンス・午後から報恩講法要。
 十二月 六日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成21〜23年、平成24〜26年、平成27〜29年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
 倉敷市 高橋様 小山様 高尾様 岡山市 吉井様 3千円
 倉敷市 竹田様 佐々木様 四千円 倉敷市 平川清様 山本洋一郎様 堀川博好様 5千円
 岡山市 岡根恒夫様 早島町 藤原早戸様 平松公子様 5千円
 倉敷市 藤原力様 樋口富雄様 山形田鶴子様 森田酒造様 1万円



カット:吉岡美枝

いっしょの詩
 虫の音ひびく秋がきた
 暑かった夏もゆつくりゆつくり
 行きすぎる
 嬉しかったこと悲しかったこと
 映画のように浮かびだす
 大人になつても子どものように
 行く夏を惜しむ

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「344号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法が午後の日には茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村 健